

【 株式会社ヤマダ電機 月次IR情報 】



■ 2013年3月期（自2012年4月1日 至2013年3月31日） 売上高前年比推移（POSベース）

【全店POSベース売上】

（単位：％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計 (単純平均)
単体：全店	88.4%	75.8%	67.2%	71.2%	90.6%	95.1%	89.0%	96.7%	90.0%	92.2%	95.3%		86.5%
グループ：全店	88.3%	76.2%	67.6%	71.5%	90.1%	94.6%	89.2%	96.6%	90.3%	92.3%	95.2%		86.5%
グループ：既存	71.9%			82.2%			87.7%			—			80.2%

[単体全店・・・ヤマダ電機単体の全店POS速報ベース売上前年比、グループ全店・・・単体+子会社のグループ全店POS速報ベース売上前年比、グループ既存店・・・四半期ごとに3ヶ月集計のグループ既存店POS速報ベース売上前年比を開示いたします。]

注1： 数値は店舗POS速報データに基づいており各月及び累計の数値は決算の数値とは異なります。
また、卸売上、ソリューションビジネス関連売上、各種取次手数料売上等の売上は含まれません。
注2： 「POS売上」は、携帯電話売上速報値を含むPOS速報データとなっています。

■ 月次概況説明

2013年2月度は、祝日が1日多く、前年のうるう年の影響で平日が1日少なくなっています。
前年、東北3県の地上デジタル放送移行に伴う映像関連の需要（3月末まで）により、今年は反動が発生しております。
商品別では、エコポイントや地デジ化の反動減により、テレビ、レコーダー等の映像関連が引き続き低迷しておりますが、先月に続き、買い替え需要、大型化による単価アップ等も加わり、前年比で回復傾向が見られます。
冷蔵庫をはじめとした白物家電（特に省エネ家電）、デジカメ、ゲーム関連商品が好調に推移しました。
パソコン本体が新製品の切り替えに伴い単価がダウン、携帯電話、暖房関連商品が伸び悩みました。

■ 当期の売場面積推移

【グループ全店ベース】

（単位：㎡・％）

期初		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	経過月計	累計	期初比
2,098,387	開店	13,792	8,627	16,293	14,148	22,887	8,597	6,929	26,209	16,697	14,905	0		149,084	2,234,758	106.5%
	増床	72	38	0	0	0	0	0	14	0	0	95		219		
	閉店	-5,711	0	0	-2,689	-4,036	0	-496	0	0	0	0		-12,932		
	計	8,153	8,665	16,293	11,459	18,851	8,597	6,433	26,223	16,697	14,905	95		136,371		

本月次IR情報の内容は、発表日時点で入手可能な情報に基づき当社月次概況の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本月次IR情報中の数値及び画像等の各データ、説明、イメージ、見解や予定は、多分に不確定な要素を含んでおり、予告なしに変更されることがありますので、予めご了承くださいませようお願いいたします。株式会社ヤマダ電機及びそのグループ各社の役員または従業員は、本資料の使用、その内容から生じる直接的、間接的または派生的な損害